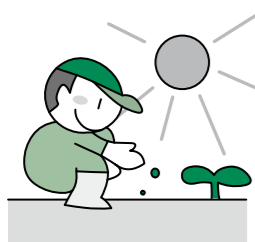


子どもの心と親の心

体験することの大切さ

最近の子どもたちは、テレビやインターネット、ゲームなどからたくさん情報を得ていますが、実際の生活に生かされているでしょうか。例えば、野菜の名前や大きさは分かっている、その野菜の重さはどれくらいなのか、どの季節にどれだけの期間をかけて育ち、いつ収穫できるのかなどについて想像もできない子どもが増えてきているように思います。

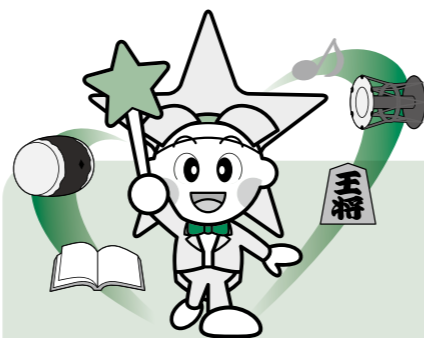
家庭生活を振り返ってみても、情報や知識を得るだけで実際に体験する機会が少ない環境になっています。花を育てたり、ものを作ったりするなどの体験は、実際にやってみようと思えない場面がふつかります。つまり、頭の中で描くことと実際に行うことは、なかなか一致しないという体験です。その時に、どうするのか悩んだり、試行錯誤したりする時間が子どもたちの成長には欠かせません。途中でつらかったり、悔しかったり、大変な思いをしたけれども



“何とかできた” “やりとげた” という達成感が生きる喜びにつながっていくことでしょう。このように知識に体験を加えることで“こころ”も“からだ”もバランスよく成長するのではないのでしょうか。

教育相談センター「鶴山塾」
山下87番地 電話 22-2523

学校のこと、友だちのこと、
家族のこと、気軽に相談してください



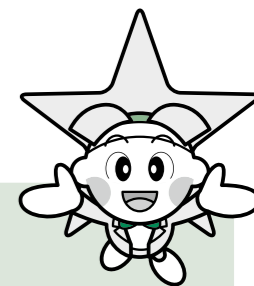
☆文化がまちに出る！
プロジェクト「津山ふれあいと交流の総合文化プロジェクト」
とき 10月30日(土)～11月7日

問い合わせ先 国民文化祭推進室 32・7001
開催場所 (日) ソシオ一番街、アルネ・津山
津山の魅力ある文化や食のイベントを開催します。

晴れの国おかやま 文化回廊

あ晴れ！おつかまつり国民文化祭

国民文化祭・おかやま2010 平成22年10月30日(土)～11月7日(日)



Vol.9 国民文化祭の見所

開催まで60日を切った国民文化祭。最終回は津山市で開催される事業の見所を紹介いたします。

☆洋学シンポジウム

グローバルな視点から
とき 11月6日(土)

ところ 津山鶴山ホテル
近世史研究の第一線で活躍中の研究者を迎え、江戸時代の新しい研究成果などを踏まえた興味深い話を展開します。

☆民謡・民舞の祭典

民謡民舞岡山、全国の珠玉集
とき 11月7日(日)

ところ 津山文化センター
「岡山うた」「伝えうた」「極みうた」といった3部構成に加え、秋空の下、野外ステージ「和っしょい！鶴山」で地元民謡民舞も披露します。

☆文芸祭 俳句

やさしい美作の山河
輝く俳句の心広がる人の輪
とき 11月5日(金)・6日(土)

ところ ベルフォーレ津山
11月5日に吟行(名所・旧跡で行う俳句)を行い、6日には現代俳句協会名誉会長・

金子兜太さんによる記念講演を行います。

☆美術展 写真

出会いと感動の1コマを
とき 10月30日(土)～11月7日

(日)

ところ 市立文化展示ホール
輝く一瞬を一枚の写真から。全国から応募されたえりすぐりの作品は皆さんを感動させ、芸術の秋をより一層深めてくれます。

☆茶道フェスティバル

日本の心を再認識
とき 11月6日(土)

ところ 地域交流センター
本格的に置でいただく茶席と気軽にイスで楽しんでいただける呈茶を用意。どちらも茶の湯に親しみ、日本の心を再認識できます。

☆中世山城の祭典

中世山城を解き明かす
とき 10月30日(土)・31日(日)

ところ ベルフォーレ津山
史跡現地見学会や山城サミット、シンポジウムを通して津山の山城を満喫。さらに美作の中世山城を記録した貴重な記念冊子を販売します。

けんこう広場

赤ちゃんを健やかに育てるために



赤ちゃんが生まれてから約4週間、特に最初の2週間は、お母さんの体内とは違う環境の中で自分の力で発育していくことに慣れる大切な期間です。一方、お母さんの体が妊娠前の状態に戻るまでの約6～8週間を「産褥期」といい、この期間は安静にする必要があります。

しかし「赤ちゃんが泣きやまない、寝てくれない、おっぱいを飲んでくれない」「赤ちゃんがぐずったときにどうしていいか分からない」などという悩みを抱えるお母さんが多いようです。気軽に相談できる人がいれば安心ですが、核家族や引越したばかりでそういう人がいないという声を聞きます。マタニティーブルーや産後うつになる可能性もありますので、家族や周りの人は優しく声を掛けてあげましょう。



気軽に相談してください

市では、第1子が誕生した家庭すべてに保健師が訪問をし、赤ちゃんの日々の様子を聞いたりしながら、子育てについてお母さんと一緒に考えます。育児相談専用電話「すくすく育児テレホン 23-1972」もあり、保健師・栄養士が相談に応じます。また「地域のお母さん」である愛育委員さんによる「おめでとう訪問」もあります。希望者は出生届を提出する時に申し込んでください。

問い合わせ先 健康増進課 32-2069

エコるびー

「プラスチック製容器包装」は資源です！

市で収集しているプラスチック製容器包装は大切な資源としてリサイクルします。ただし、リサイクルするためには、各家庭で異物や汚れた物を出さないように分別することが重要です。

どんな物がプラスチック製容器包装なの？

商品が入っていたプラスチック製の容器や袋、包みのことです。

※マークが目印です。

出し方のポイント

●プラスチック製容器包装以外の物は出さない
次のような物が混入するとリサイクルできません。
(例) ・ペットボトル、缶、びん
・プラスチック製商品(歯ブラシ、バケツ、おもちゃ、ビデオテープなど)
・かみそりやライター、乾電池、注射針などの危険物
・紙パックなど紙製の容器

●中身を出して水洗いするか、きれいにふき取る

汚れた物が出されると、ほかのきれいな物まで汚れてしまったりリサイクルできません。

●レジ袋などの小袋に入れない

収集後、指定袋から中の物を取り出し、異物が混入していないか手作業で選別しています。小袋に入れていると、十分な選別ができません。

詰め替え用の商品を買うなど、容器包装自体を減らすことも大事じゃぞ！



環境奉行「エコるびー」

問い合わせ先 環境事業所 22・8255